



# 鯨山 1

R元. 11. 28 令和元年11月号②

〒 327-0817 佐野市伊勢山町 1534 Tel 0283-24-2887 Fax 0283-24-3565

<http://www.schoolnet-sano.ed.jp/inubushie-e/>

## 苦しいけれど頑張った 持久走大会

11月20日(水)、若干風が強かったものの天候に恵まれた中、持久走大会が行われました。日本はマラソン・駅伝好きの国民性だと言われているそうです。そのためか多くの学校もそうですが、学校行事の中でも持久走大会は盛り上がるものの一つです。得意な子どももそうでない子どももいますが、苦しさにも耐えて頑張る姿には声援を送りたくなるものです。目標としていた記録を上回れた子、思ったような記録ではなく悔し涙を流す子。何らかの形で自分の思いどおりにならないことを経験することも時には必要なことかもしれません。そして、苦しいけれど頑張った姿はどの子どもも立派でした。



## 思い出たくさん 海浜自然の家宿泊学習



11月13日(水)～15日(金)、5年生はとちぎ海浜自然の家宿泊学習(茨城県)でした。3日間ともまずまずの天候に恵まれ、海辺での宿泊学習を満喫できました。1日目は館内ウォークラリー、ナイトハイクを行いました。ナイトハイクでは、暗闇の中を歩く体験をしました。2日目はサンマの干物づくりと塩づくりを行いました。海浜宿泊学習らしいメインの活動でお土産にもなりました。最終日の3日目はアクアワールド大洗水族館を見学しました。3日間の宿泊学習で友達と協力して活動することの大切さを学ぶことができました。最高学年まで約半年。子どもたちがそれぞれにリーダーシップ、フォロワーシップを発揮できたようです。

## 委員会発表

2学期に入ってから、集会活動の時間に委員会発表を行っています。各委員会から内容の説明やお願いをした後、クイズが出されることが多いです。このクイズはマニアックなものもありなかなか楽しませてくれます。この後もいくつかの委員会の発表が控えていて子どもたちも楽しみにしています。



## あいさつタッチ運動

朝の「おはようございます」、帰りの「さようなら」などの際に教職員と子どもたち、子どもたち同士で手の平をタッチしながらあいさつする「あいさつタッチ」を行い、更にしっかりとあいさつができることを目指しています。もとななる「ハイタッチ」は和製英語であり、日本国外では「ハイファイブ」と呼ばれます。「ハイタッチ」の起源はアメリカメジャーリーグの野球選手とも日本のプロ野球選手とも言われています。確かにハイタッチは野球のイメージがありますね。



## 身近な場所にすごいもの



3年生では、身近な地域の見学や体験が続いています。11月14日(木)には学区内にある食品工場の見学に行きました。工場ではカレーを生産しており、1日の生産量は500万食分にも及ぶそうです。これは栃木県内全ての小学生に毎日カレー給食を配膳しても2か月分にもなります。また、総合的な学習では21日(木)には地域に伝わる栃木県指定無形民俗文化財の宮比講神楽について学び、神楽の太鼓をたたく体験もしました。身近な場所にすごいものがあることを子どもたちも実感したようです。

## 東っ子まつりに向けて



東っ子まつりが近付いてきました。どのクラスも演目についての練習が始まっているところです。4・5年生は、例年東っ子まつりでのクラスの演目についてボランティアの先生による合唱指導を受けています。6年生も今後、卒業式歌についての指導をしていただく予定です。また、地元で伝わる宮比講神楽を特設クラブの児童が舞うためボランティアの先生方から指導を受けます。練習の成果は東っ子まつり当日に披露となりますので楽しみに。

## 創立40年を振り返って プレイバック東小



学校週5日制が始まったのは平成4年度ですが、はじめは月1回でした。平成7年度からは月2回となり、平成14年度からは完全週5日制となりました。そのようなわけで開校当初は土曜日午前中授業でしたから、現在よりも時間的な余裕があったのか、様々な行事が行われていたようです(これは日本全国似たような傾向です)。特に多かったのが児童集会のようで、左の写真は「七夕集会」、右上は「動物のカーニバル」、右下は「豆まき集会」(いずれも昭和62年度)の写真です。



「七夕集会」「豆まき集会」はその名のとおり、七夕や節分にちなんだものだと思いますので、集会の内容はおおよそ想像が付きまします。問題は「動物のカーニバル」です。名称だけだと具体的にどのような内容の集会だったのかよく分からないのですが、いくつかの写真を見ると、動物の仮装をすることが1つのメインであったように感じます。

現在は学校週5日制の中で当時はなかった英語や総合的な学習などを行わなければならないから授業時間の都合上、同様の集会はなかなかできませんが、児童集会で行っている「ウォークラリー」などを通して子どもたちの主体性を育てていきたいと思ひます。